

チームシート

提出日 H.17年 12月 7 日

会社名(チーム名)

Kyahoo

会社の業務内容・規模

ソフトウェア開発・保守・販売

規模: 事業所等、小規模な

オフィスで運用される

システムの構築

チーム構成(学生番号、氏名、役割分担)

◎1234567 翔泳太郎 リーダー ○XXXXXX ○○○○ プログラムチーフ

○XXXXXX ○○○○ 品質管理 ○XXXXXX ○○○○ 渉外

○XXXXXX ○○○○ ドキュメントの版管理 ○XXXXXX ○○○○ アドバイザ

○XXXXXX ○○○○ タイムキーパー 合計 7 人

提案先(業界、社名、規模、ビジネス内容、役職など)

高知工科大学 ○○ 研究室

規模: 20人前後

ビジネス内容: 研究活動

提案先企業の抱えている課題

現在、高知工科大学の情報システム工学科は、JABEEの申請を行なっている。その関係上、研究室で誰が何時間研究活動を行なっているかを把握する必要がある。また、学内の急な呼び出しの際に、研究室に今誰がいるのかをWeb上で確認したい。

チームの目標・行動指針

- ・仕様通りのシステムを、与えられた期日までに作成する
- ・時間厳守
- ・チーム間でコミュニケーションをとり、情報を共有する
- ・個々の能力を活かし、行動する

活動に際しての留意点(授業時間外の打ち合わせ時間と場所など)

授業時間外の打ち合わせは主に ○○ 研究室で行なうようにする。

工程振り返りシート

チーム名 Kyahoo

記入月日 H.17 年 12 月 21 日

工程作業のチェックリスト(A(良い)～D(悪い)の4段階で評価)

- [B] (1)期日までに目標とした作業を全て終了させることができたか。
- [B] (2)作成された成果物の品質は良いか。
- [A] (3)計画していた成果物を全て作成することができたか。
- [A] (4)チームメンバ全員が成果物の作成に係わることができたか。
- [C] (5)チームメンバ間の役割分担は上手くでき、それを実行できたか。
- [C] (6)ミーティングは予定した時間に開始でき、終了させることができたか。
- [C] (7)ミーティングは効率的にできたか。
- [C] (8)チームで立てた目標を達成することができたか。

この工程での問題点

- ・レビューであがった修正点が修正されず、次のレビューまで持ち越された
- ・全員がレビュー開始前に目を通していない
- ・リーダーが喧嘩腰
- ・1つの問題に全員が取り組んでいない
- ・人の話を聞かない
- ・文章に対する意識の軽薄化

次工程での対策

- ・レビューの開始までに全員が資料に目を通しておく
- ・文章構成に、より重点を置く
- ・一個人の意見を押しつけない
- ・1つの議題に対して全員が意見を言う
- ・もっと文章を読む

その他(特記事項、メモ)

- ・担当した章に担当者の名前を記述する
- ・今回から全員が仕事に参加できるようになった

レビュー記録表

通番 1/6

通番

6

実施日時 200X年12月16日(金) 19:00 ~ 23:00

実施場所 ○○研究室

チーム名 Kyahoo

記入者 翔泳太郎

レビュー対象物

外部設計書 第1版 (2章~6章)

参加者名(学籍番号)

翔泳太郎 (XXXXXXX)

伊藤隆 (XXXXXXX)

鈴木和也 (XXXXXXX)

山田幸助 (XXXXXXX)

番号	分類	頁・行	指 摘 事 項	緊急	重要	訂正担当	訂正内容と訂正月日	訂正確認 名前、日付
1	R	全体	清算 → 精算 (誤字) ※設計書全体に!		○	伊 藤	tex - 文字列を置換しました eps - 作成し直しました (12/16)	山田 (12/17)
2	C	頁 7	2.2項 ・箇条書きの末尾を「。」で統一する ・(2)厨房クライアント → 厨房の端末 (用語の統一) ・(3)厨房クライアント → 厨房のスタッフ に変更する ・(5,6) 連動する動作なので、ひとつにまとめる ・(7) 長すぎるので簡潔に直す		○	翔 泳	すべて修正しました (12/17)	鈴木 (12/19)
2	R	頁 7	2.2項 業務ごとに、対応する図番号を明記する		○	山 田	明記しましたが、見づらくなりました (12/17)	伊藤 (12/19)
3	R	頁 7	テーブル設計書の内容が不明瞭なので、リレーショナルモデルを追加する		○	山 田	リレーショナルモデルは追加せず、より内容を明確にすることにしました (12/17)	伊藤 (12/19)
4	R	頁 7	3.2項、1行目の表現に修正要求 (正確な表現に)		○	翔 泳	3.2項を修正。3.1項も修正に対応 (12/17)	鈴木 (12/19)
5	C	頁 8	図5「注文情報」→「注文情報など」に変更		○	鈴 木	epsファイルを修正しました (12/16)	翔泳 (12/19)
6	C	頁 8	6項、2行目「処理いたします」→「対応いたします」に変更		○	鈴 木	変更しました (12/17)	翔泳 (12/19)
7	R	頁 5,6	「メニュー177」「メニュー277」を、それぞれ「メニュー1カテゴリ77」「メニュー2カテゴリ77」に変更 (用語の統一)		○	伊 藤	2.1.1項の表を修正しました (12/16)	山田 (12/17)

分類 R:訂正要求 O:質問 C:出たこと

分類 R:訂正要求 Q:質問 C:単なるコメント

テ ス ト 項 目 表

テスト区分 <input type="checkbox"/> 単体テスト <input type="checkbox"/> 結合テスト <input checked="" type="checkbox"/> 総合テスト <input type="checkbox"/> 移行テスト <input type="checkbox"/> 運用テスト					管理番号 A - 12 - 3 - 4	通番 1/1	作成者 翔泳
テスト対象名 (システム名、モジュール名) テーブルクライアント (Table-client.java)							
通番	テスト予定日 担当者	テ ス ト 内 容	テスト実施日 担当者	テ ス ト 結 果	対 処 内 容		
1	翔泳 (1/21)	顧客番号を入力する場合、どんな値でも正しく動作するか (ただし、バコードの値ということが前提条件のため、13桁の正の整数値で入力)	1/22 〇〇	どのような入力でも動作する (13桁の正の整数以外の場合は)	な し		
2	翔泳 (1/21)	商品ボタンを押した時、複数回同じ商品ボタンを押すと、正常に数量が増えるか	1/22 〇〇	正常に動作する	な し		
3	翔泳 (1/21)	削除ボタンが押された時、選択している商品の数量を1個減らすことができるか (数量が1個の場合、商品名も一緒に消えるか)	1/22 〇〇	2個以上の商品の数量がある場合も、商品名が消える			
4	翔泳 (1/21)	全削除ボタンが押された時、正常にすべての商品が削除され、表示が消えるか	1/22 〇〇	正常に動作する	な し		
5	翔泳 (1/21)	注文ボタンを押した後、「はい」を押すと正常にサブ・厨房クライアントへデータを送れるか、 「いいえ」の場合は正常な処理をするか	1/22 〇〇	正常に動作する	な し		

障 害 処 理 票

障害発生時刻 2006 年 / 月 4 日(水) 15 時 03 分			管理番号 12 - 34 - 56 - 7		
テスト工程 <input checked="" type="checkbox"/> 単体テスト <input type="checkbox"/> 結合テスト <input type="checkbox"/> 総合テスト <input type="checkbox"/> 移行 <input type="checkbox"/> 運用			テスト項目管理番号 通番 A - 12 - 3 - 4 - 5		
システム名 書籍検索システム モジュール名 Search T			起票者 翔泳太郎		
√	トラブル分類	√	バグ混入工程	√	抽出すべき工程
√	1 設計バグ		1 要求分析	√	抽出遅延理由
	2 製造バグ		2 システム提案		1 設計レビュー漏れ
	3 改造バグ	√	3 外部設計	√	2 仕様書訂正漏れ
	4 DB、OSバグ		4 内部設計		3 仕様書解釈誤り
	5 環境、HWバグ		5 製造		4 ソースコードレビュー漏れ
	6 手順バグ		6 単体テスト		5 テスト漏れ
	7 提供データ誤り		7 結合テスト		6 改修誤り
	8 誤操作		8 総合テスト		7 ユーザー調整漏れ
	9		9 移行		8 ユーザー調整誤り
	10		10 運用		9 仕様変更
	11 その他		11 その他	√	10 杜撰なバグ管理
障害状況					
<p>入力画面において、書籍名・著者名がともに 入力されていない場合、それを伝える表示が 行なわれていなかった。</p>					
障害対処内容				対処者 翔泳太郎	
<p>入力が行なわれていないことを示すための ダイアログを作成し、それを表示できるように メソッドの作成を行なった。</p>				対処日時 / 月 4 日 / 時 03 分	
				確認者 ○○○○	
				確認日時 / 月 10 日 / 時 32 分	
備考(関連項目に対する対策、次工程への提言など)					
<p>入力が行なわれなかった場合、何も表示されなければ 実行が行なわれたかどうか分からない。 こういったことを設計の段階で組み込んでおく必要を 感じた。</p>					

チーム名・会社名

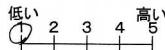
Kyadoo

貢献度と共感度の平均が、4点以下になるように。全員同じ点数はダメ。

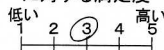
自分の名前

翔泳太郎

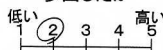
チームに対する貢献度



出来上がったもの
に対する満足度



演習に積極的に
参画したか



チームメンバーの名前

○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

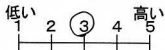
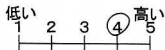
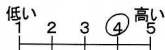
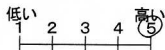
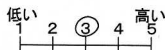
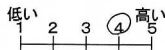
○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

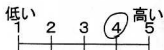
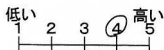
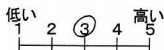
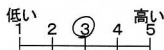
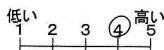
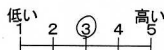
○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○

チームに対する貢献度



発言に対して
共感できたか



評価理由・コメント・感想
(良い点、アドバイス)

専門分野における的確な判断力はあるが、同様の状況を把握する必要がある。

有益な発言をすることができ、もっと自分をアピールすることが必要である。

仕事を確実にこなし、チームにかかる負担を解消していた。メンバーに仕事を与える必要がある。

非常によく発言し、チームを支える努力は見られるが、人の意見はもっと耳を傾ける必要がある。

冷静に判断し、仕事をこなせるが、もう少し発言力がほしいところ。

密りに振られた仕事をこなす努力が見られたが、同様のプレッシャーにもっと強くなる必要がある。